Photostud

サマーマイルシリーズ

# THE SEKIYA KINEN　第59回 関屋記念（GⅢ）

| | 1着 | 2着 | 3着 | 4着 | 5着 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本賞 | 41,000,000円 | 16,000,000円 | 10,000,000円 | 6,200,000円 | 4,100,000円 |
| 付加賞 | 637,000円 | 182,000円 | 91,000円 | | |

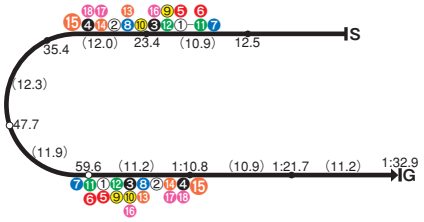
レース映像はコチラでご覧いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量　3歳54*ﾛ4歳以上57*ﾛ、牝馬2*ﾛ減、2023.8.12以降ＧⅠ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬3*ﾛ増、牝馬限定ＧⅠ競走またはＧⅡ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬2*ﾛ増、牝馬限定ＧⅡ競走またはＧⅢ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬1*ﾛ増、2023.8.11以前のＧⅠ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬2*ﾛ増、牝馬限定ＧⅡ競走またはＧⅡ競走（牝馬限定競走を除く）1着馬1*ﾛ増（ただし2歳時の成績を除く）

2024.8.11　新潟　晴･良　芝1600ﾒｰﾄﾙ　（国際）（特指）

| 着順 | 馬番 | 馬名 | 性齢 | 斤量 | 騎手 | タイム（着差） | コーナー通過順位 | 上り（600ﾒｰﾄﾙ） | 馬体重（増減） | 単勝オッズ | 調教師 | ﾚｰﾃｨﾝｸﾞ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ⑮ | トゥードジボン | 牡5 | 57 | 松山弘平 | 1:32.9 | 1-1 | 33.3 | 488（＋2） | 6.6③ | 四位洋文（栗東） | 111 |
| 2 | ⑭ | ディオ | 牡5 | 57 | 岩田康誠 | 1½ | 4-4 | 33.2 | 490（－4） | 14.7⑧ | 辻野泰之（栗東） | 108 |
| 3 | ⑥ | ジュンブロッサム | 牡5 | 57 | 戸崎圭太 | ½ | 16-16 | **32.5** | 468（－8） | **3.7①** | 友道康夫（栗東） | 107 |
| 4 | ⑧ | ロジリオン | 牡3 | 54 | 永野猛蔵 | クビ | 7-7 | 33.1 | 474（－4） | 12.8⑤ | 古賀慎明（美浦） | 106 |
| 5 | ⑬ | プレサージュリフト | 牝5 | 55 | C.ルメール | アタマ | 7-7 | 33.2 | 482（－4） | 4.0② | 木村哲也（美浦） | |
| 6 | ⑪ | サンライズロナウド | 牡5 | 57 | 横山典弘 | ハナ | 16-16 | **32.5** | 472（－1） | 41.7⑪ | 安田翔伍（栗東） | |
| 7 | ⑱ | ラインベック | 騸7 | 57 | 荻野　極 | 1 | 2-2 | 33.7 | 480（－8） | 79.5⑭ | 友道康夫（栗東） | |
| 8 | ⑫ | アスクコンナモンダ | 牡5 | 57 | 津村明秀 | クビ | 12-12 | 33.0 | 458（±0） | 37.9⑩ | 中内田充正（栗東） | |
| 9 | ① | ディスペランツァ | 牡3 | 55 | M.デムーロ | アタマ | 14-14 | 32.8 | 514（－4） | 7.6④ | 吉岡辰弥（栗東） | |
| 10 | ⑤ | メイショウシンタケ | 牡6 | 57 | 泉谷楓真 | 1¼ | 14-14 | 33.0 | 480（－4） | 46.7⑫ | 千田輝彦（栗東） | |
| 11 | ⑯ | オニャンコポン | 牡5 | 57 | 菅原明良 | アタマ | 10-9 | 33.4 | 476（－10） | 22.1⑨ | 小島茂之（美浦） | |
| 12 | ⑦ | タイムトゥヘヴン | 牡6 | 57 | 柴田善臣 | クビ | 18-18 | 32.9 | 488（＋4） | 171.9⑯ | 戸田博文（美浦） | |
| 13 | ④ | サクラトゥジュール | 牡7 | 58 | 佐々木大輔 | ハナ | 2-2 | 34.0 | 512（－14） | 13.6⑥ | 堀　宣行（美浦） | |
| 14 | ⑩ | パラレルヴィジョン | 牡5 | 58 | 三浦皇成 | 2½ | 9-9 | 33.9 | 492（±0） | 14.4⑦ | 国枝　栄（美浦） | |
| 15 | ② | ダディーズビビッド | 牡6 | 57 | 丸山元気 | クビ | 6-6 | 34.1 | 498（－2） | 95.0⑮ | 千田輝彦（栗東） | |
| 16 | ③ | コレペティトール | 牡4 | 58 | 石川裕紀人 | 1¼ | 10-9 | 34.0 | 480（－2） | 70.6⑬ | 中竹和也（栗東） | |
| 17 | ⑨ | グランデマーレ | 牡7 | 57 | 田辺裕信 | ½ | 12-12 | 34.0 | 504（±0） | 220.2⑰ | 藤岡健一（栗東） | |
| 18 | ⑰ | ワールドウインズ | 騸7 | 57 | 松岡正海 | 2½ | 4-4 | 35.1 | 452（－6） | 406.9⑱ | 笹田和秀（栗東） | |

単勝⑮660円（3ﾍﾝｷ）　複勝⑮260円（3ﾍﾝｷ）　⑭350円（6ﾍﾝｷ）　⑥160円（1ﾍﾝｷ）　枠連⑦-⑦680円（2ﾍﾝｷ）
馬連⑭-⑮3,740円（14ﾍﾝｷ）　ワイド⑭-⑮1,260円（14ﾍﾝｷ）　⑥-⑮650円（3ﾍﾝｷ）　⑥-⑭870円（8ﾍﾝｷ）
馬単⑮-⑭6,200円（22ﾍﾝｷ）　3連複⑥-⑭-⑮5,050円（8ﾍﾝｷ）　3連単⑮-⑭-⑥30,060円（71ﾍﾝｷ）
5重勝⑥⑰②①⑮2,207,450円（204票）　対象競走：中京10Ｒ／新潟10Ｒ／札幌11Ｒ／中京11Ｒ／新潟11Ｒ




通過タイム：600ﾒｰﾄﾙ 35.4 - 800ﾒｰﾄﾙ 47.7 - 1000ﾒｰﾄﾙ 59.6　上り：800ﾒｰﾄﾙ 45.2 - 600ﾒｰﾄﾙ 33.3

## アラカルト

- 松山弘平騎手は関屋記念初勝利。ＪＲＡ重賞は本年5勝目、通算46勝目
- 四位洋文調教師は関屋記念初勝利。ＪＲＡ重賞は本年初勝利、通算3勝目
- イスラボニータ産駒はＪＲＡ重賞通算5勝目
- 5歳馬の勝利は22年ウインカーネリアンから3年連続、通算17回目

# トゥードジボン *Tudo de Bom*

**牡　鹿毛　2019.3.30生**
**北海道千歳市　社台ファーム生産**
**馬主・青山洋一氏　栗東・四位洋文厩舎**
**馬名意味・全て上手くいく（ポルトガル語）**

コッパUSA系　F7-c

| | | |
|---|---|---|
| イスラボニータ<br>黒鹿毛　2011 | フジキセキ<br>青鹿毛　1992 | サンデーサイレンスUSA |
| | | ミルレーサーUSA |
| | イスラコジーンUSA<br>鹿毛　2002 | Cozzene |
| | | Isla Mujeres |
| コッパUSA<br>Coppa<br>鹿毛　2013 | Yesbyjimminy<br>鹿毛　2004 | Yes It's True |
| | | Sisters Creek |
| | Diplomatic Angel<br>鹿毛　1996 | Valid Appeal |
| | | Royal Angelique |

5代までのインブリード：In Reality M4×S5

## INTERVIEW

**東礼治郎**場長（社台ファーム）

### スタッフ一同、大いに盛りあがる勝利となりました

四位厩舎の仕上げ、松山騎手のエスコートも完璧でした。父の初年度産駒で、気合を込めて送り出した世代です。勝ちきれない時期もありましたが、ようやく噛み合ってきた印象です。素質開花を待ってくださった青山オーナーに喜んでいただけて本当に嬉しかったです。社台ファーム鈴鹿調教馬初の重賞勝ちとなり、スタッフ一同、大いに盛りあがる勝利となりました。

**父イスラボニータ**

北海道浦河町　㈲社台コーポレーション白老ファーム生産　中央25戦８勝(皐月賞$^{G_I}$、阪神C$^{G_{II}}$、マイラーズC$^{G_{II}}$、セントライト記念$^{G_{II}}$、共同通信杯$^{G_{III}}$、東京スポーツ杯２歳S$^{G_{III}}$、日本ダービー$^{G_I}$２着、マイルチャンピオンシップ$^{G_I}$２着、天皇賞(秋)$^{G_I}$３着２回)、最優秀３歳牡馬、18年から供用

〔代表産駒〕**ヤマニンサルバム**(新潟大賞典$^{G_{III}}$、中日新聞杯$^{G_{III}}$、オクトーバーS・L)、**トゥードジボン**(本馬)、**プルパレイ**(ファルコンS$^{G_{III}}$)、**コスタボニータ**(福島牝馬S$^{G_{III}}$)、**バトルクライ**(すばるS・L、根岸S$^{G_{III}}$３着、ユニコーンS$^{G_{III}}$３着)、**オメガリッチマン**(京成杯$^{G_{III}}$２着)、**ルカランフィースト**(スプリングS$^{G_{II}}$３着)、**アルーリングビュー**(紅梅S・L３着)

**母コッパUSA**

北米７戦３勝(ヴィクトリーライドS・米$^{G_3}$)、18年輸入

**トゥードジボン**　本馬(19 牡父イスラボニータ)中央18戦６勝(関屋記念$^{G_{III}}$、米子S・L、清水S、京都金杯$^{G_{III}}$３着)　獲得総賞金139,760,000円

レモンオーラ(20 牝父ハーツクライ)中央３戦０勝

ポッドデューク(22 牡父イスラボニータ)中央１戦０勝 ㊐

(23 牝父イスラボニータ)

※21、24(不受胎)

**祖母ディプロマティックエンジェル** Diplomatic Angel

アメリカ産　北米０勝

**トロピックストーム** Tropic Storm(04 騸父Stormy Atlantic)北米６勝(ウインディサンズH・L、アクアクH$^{G_3}$２着、トリプルベンドH$^{G_1}$３着、オークツリーマイルS$^{G_2}$３着２回、ロングエイカーズマイルH$^{G_3}$３着)

**コッパUSA**(13 前出)

**曾祖母ロイヤルアンジェリーク** Royal Angelique

アメリカ産　北米０勝

**ミスアンジェリーク** Miss Angelique(87 牝父No Sale George)北米５勝(ルディーベルH・L２着、ジッピードゥH・L３着)

**ミスティックユニオン** Mystic Union(91 牝父Skip Trial)北米８勝(ワバシュS、マイチャーマーS・L２着、ガーデニアブリーダーズカップS・L２着、ゴールデンロッドS$^{G_3}$３着)

**フェデラルトライアル** Federal Trial(95 牡父Skip Trial)北米７勝(ハイアリアターフC$^{G_2}$、カナディアンターフH$^{G_3}$、マンハッタンH$^{G_1}$２着、マンノウォーS$^{G_1}$３着)

ディプロマティックエンジェル Diplomatic Angel(96 前出)

M.Yamada

## 持ち前の先行力を生かし重賞初制覇

サマーマイルシリーズが全4戦の構成となった2020年以降、シリーズ初戦の米子Sの勝ち馬は21年のロータスランド、22年のウインカーネリアンが3戦目の関屋記念も制し、夏のマイル王に輝いている。6月の3勝クラス特別を完勝した新星ジュンブロッサムと、前走のメイSで久しぶりの勝利を飾った22年のクイーンCの覇者プレサージュリフトが1、2番人気に支持された今年も、終わってみれば米子Sの1、2着馬が上位を独占。3番人気のトゥードジボンが持ち前の先行力を生かしてシリーズ2勝目を挙げた。

2番枠から逃げ切った米子Sとは一転、外めの15番枠を引いたこの日だが、一枚上のダッシュで飛び出したトゥードジボンと松山弘平騎手のコンビは自然体で先手を奪い、マイペースの逃げを打つ。プレサージュリフトは凝縮した馬群の中団で折り合いに専念。立ち遅れ気味のスタートを切ったジュンブロッサムは後方2、3番手で末脚勝負に構えた。

落ち着いた流れに持ち込んでレースを支配した松山騎手は、外回りコースの長い直線に向くと残り400㍍地点から本格的にスパート。鞍上の指示に鋭く反応し、10秒台のラップを刻んだトゥードジボンが後続を突き放す。ラスト1㌘も11秒2。最後までしっかり伸びた逃げ馬は、好位追走から2着に追い上げたディオ以下の追撃をまったく寄せ付けないまま、一人旅のゴールに飛び込んだ。

デビュー3戦目に未勝利戦を勝ち上がった後、朝日杯フューチュリティS(9着)に挑んだように、2歳時から大きな期待をかけられていた本馬は昨年秋に本格化。2、3勝クラス特別を連勝し、昇級初戦の京都金杯でも小差の3着に食い下がった。その後は本来のリズムで走れないレースが続き、二桁着順の大敗を重ねたものの、米子Sを好時計で逃げ切って再び上昇気流に乗り、この日も〝スンナリ先行できるしぶとい〟持ち味を存分に発揮。重賞初制覇を果たすとともに、夏のマイル王の座にも大きく近づいた。